A5 Fujitsu Experience Day 2026

富士通の最新モダナイゼーション戦略

富士通株式会社
執行役員副社長 COO（サービスデリバリー）
島津 めぐみ

2026年9月25日

© 2026 Fujitsu Limited

本日のアジェンダ

- 富士通のモダナイゼーションへの取り組み
- 富士通が提供するAIドリブンモダナイゼーション
- モダナイゼーションの成功/失敗事例
- モダナイゼーション 意思決定/初期準備のご支援
- お客様と共に歩む未来へ

© 2026 Fujitsu Limited

オープニング動画

© 2026 Fujitsu Limited

1. 富士通のモダナイゼーションへの取り組み

© 2026 Fujitsu Limited

デジタル敗戦国の危機

FUJITSU

変革を経営・データ・人材の三位一体で進めなければ日本が競争力を失う

「2025年の崖」は終わったのではなく、**AIやDXを阻害する構造問題**として継続

2026年5月26日　日経デジタルフォーラム 経済産業省　木村紘太朗氏　講演をもとに富士通記載
https://seminar.nikkei.co.jp/e/1049723

技術的負債の増大

IT予算における「現行ビジネスの維持・運営」の比率

76 %

出典：JUAS「企業IT動向調査報告書2025」(2024年度調査)

IMD世界デジタル競争力ランキング2025

日本 30 位

順位	国・地域	前年との変化
1	スイス	＋1
2	米国	＋2
3	シンガポール	△2
4	香港	＋3
5	デンマーク	△2
6	オランダ	＋2
7	カナダ	＋6
8	スウェーデン	△3
9	アラブ首長国連邦	＋2
10	台湾	△1
30	日本	＋1

出所：ジェトロ2025年11月6日付ビジネス短信「2025年版IMD世界デジタル競争力ランキングでスイスが首位に浮上、日本は30位」
https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/11/00822b95d0b1cbf3.html

© 2026 Fujitsu Limited

メインフレームとともに

FUJITSU

1980年に国内トップ　日本の高度成長期を支えた富士通のメインフレーム

お客様とのエコシステム　多くのお客様要望に鍛えられたオンライン・バッチ基盤

メインフレーム全盛　**オープン化の波**　**クラサバからクラウドへ**　**エッジコンピューティング**

メインフレーム国内稼働台数

1958
SE組織の誕生

※注釈

約6,500台

1992
日本初 サービス有償化

1978
システム開発標準「SDEM」整備

2022
レガシー終息を宣言

お客様 パートナー様 とのコミュニティ

1964 FACOMファミリ会

1978 LS研究委員会

2025 Fujitsu User Community

1930s-1950s	1956-1974	1980-1987	2006-	2020-
人工知能の誕生	**第一次AIブーム**	**第二次AIブーム**	**第三次AIブーム**	**第四次AIブーム**
	推論・探索	エキスパートシステム、ニューロファジー	深層学習、LLM	生成AIの台頭

※本画像は弊社社内報(1964年7月号職場めぐり)に掲載されたものです。社内報は、関係者外秘情報のため、画像の転用やご本人及びご家族の方の閲覧は禁止させていただきます

© 2026 Fujitsu Limited

モダナイゼーションの推進状況

FUJITSU

	メインフレーム	UNIXサーバ	オフコンクラウド
販売終息 / 保守終了	30年度 / 35年度	29年度 / 34年度	25年度 / 30年度
25年度末 社数	258 社 昨年度比▲40社	560 社 昨年度比▲113社	678 社 昨年度比▲37社＋126社
25年度末 台数	538 台 ピーク比：8.2%	4,808 台 ピーク比：13.7%	918 VM
25年度末 撤去日未確定	0 社	38 社	85 社

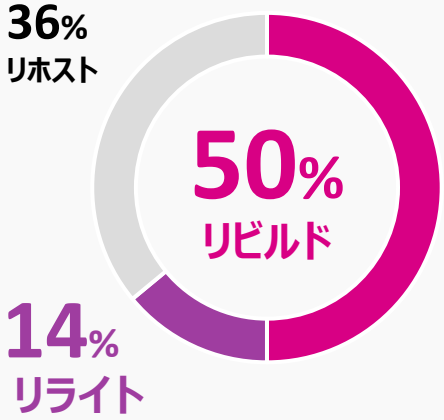
© 2026 Fujitsu Limited

お客様の取り組みトレンド -メインフレーム/UNIX-

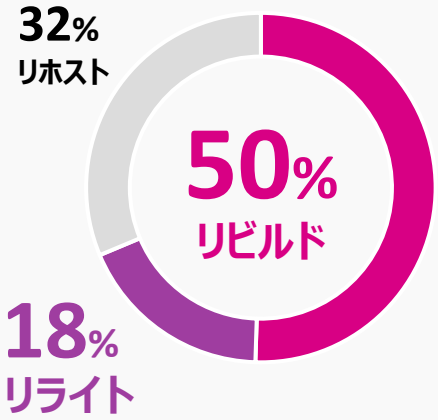
FUJITSU

モダナイ方式

実績（~25年度）



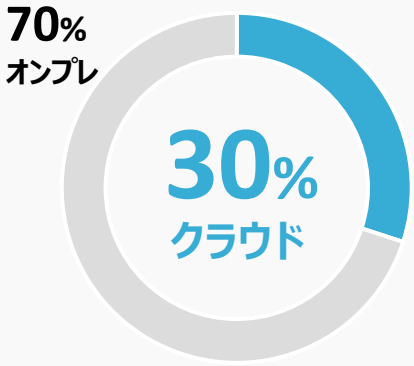
計画（26年度~）



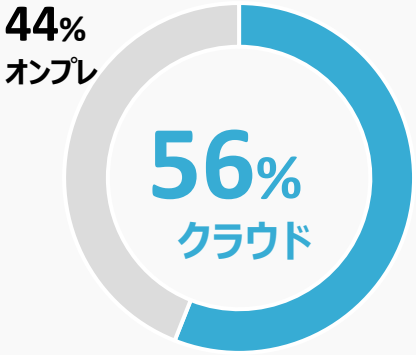
実績も計画も半数がリビルド
今後リライト増の兆しも

移行先

実績（~25年度）



計画（26年度~）



今後クラウドを選択する傾向高い
（半数以上がクラウドへ移行）

© 2026 Fujitsu Limited

2. 富士通が提供する AIドリブンモダナイゼーション

© 2026 Fujitsu Limited

富士通のモダナイゼーション事業への取り組み

FUJITSU

モダナイゼーション事業　専任組織

CoEを設立し全社活動

モダナイゼーション ナレッジセンター

モダナイマイスター100名含む、

300名（FY26・4現在）

モダナイゼーションを加速する活動基盤

事業推進のための各種施策強化

- 販売パートナー様 専任窓口組織化
- エンジニアバンク開始
- プロモーション強化
  26年-全国地域へのキャラバン展開
- 上流コンサル（Wayfinders）
- モダナイゼーションファイナンス サービス
- 市場認知度向上
  Googleキーワード検索No.1

レガシーモダナイゼーション市場No.1の実績

他社機モダナイゼーションへの展開

他社機モダナイゼーション実績（FY25：約170件）

既存ベンダ	I社　H社　N社　M社　T社
業種	製造業/流通業　公共　情報産業、サービス業　出版業　金融業

レガシーモダナイからAIドリブンモダナイへ

AIドリブン型モダナイに注力

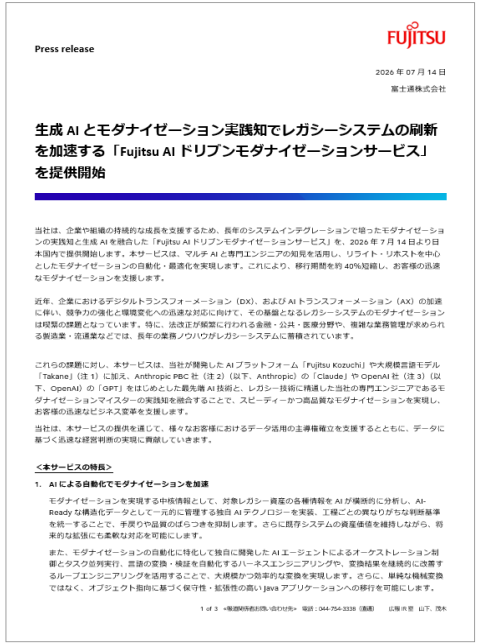
富士通 研究所AI 技術 ＋ 先端LLMの 最適実装 ＋ 富士通の モダナイ ナレッジ

© 2026 Fujitsu Limited

7/14 発表　富士通AIドリブンモダナイゼーション

FUJITSU

生成AIとモダナイゼーション実践知でレガシーシステムの刷新を加速する「Fujitsu AIドリブンモダナイゼーションサービス」を提供開始



Press release

FUJITSU

2026 年 07 月 14 日

富士通株式会社

生成 AI とモダナイゼーション実践知でレガシーシステムの刷新を加速する「Fujitsu AI ドリブンモダナイゼーションサービス」を提供開始

当社は、企業や組織の持続的な成長を支援するため、長年のシステムインテグレーションで培ったモダナイゼーションの実践知と生成 AI を融合した「Fujitsu AI ドリブンモダナイゼーションサービス」を、2026 年 7 月 14 日より日本国内で提供開始します。本サービスは、マルチ AI と専門エンジニアの知見を活用し、リライト・リホストを中心としたモダナイゼーションの自動化・最適化を実現します。これにより、移行期間を約 40%短縮し、お客様の迅速なモダナイゼーションを支援します。

近年、企業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）、および AI トランスフォーメーション（AX）の加速に伴い、競争力の強化と環境変化への迅速な対応に向けて、その基盤となるレガシーシステムのモダナイゼーションは喫緊の課題となっています。特に、法改正が頻繁に行われる金融・公共・医療分野や、複雑な業務管理が求められる製造業・流通業などでは、長年の業務ノウハウがレガシーシステムに蓄積されています。

これらの課題に対し、本サービスは、当社が開発した AI プラットフォーム「Fujitsu Kozuchi」や大規模言語モデル「Takane」（注 1）に加え、Anthropic PBC 社（注 2）（以下、Anthropic）の「Claude」や OpenAI 社（注 3）（以下、OpenAI）の「GPT」をはじめとした最先端 AI 技術と、レガシー技術に精通した当社の専門エンジニアであるモダナイゼーションマイスターの実践知を融合することで、スピーディーかつ高品質なモダナイゼーションを実現し、お客様の迅速なビジネス変革を支援します。

当社は、本サービスの提供を通じて、様々なお客様におけるデータ活用の主導権確立を支援するとともに、データに基づく迅速な経営判断の実現に貢献していきます。

＜本サービスの特長＞

1. **AI による自動化でモダナイゼーションを加速**

モダナイゼーションを実現する中核情報として、対象レガシー資産の各種情報を AI が横断的に分析し、AI-Ready な構造化データとして一元的に管理する独自 AI テクノロジーを実装、工程ごとの異なりがちな判断基準を統一することで、手戻りや品質のばらつきを抑制します。さらに既存システムの資産価値を維持しながら、将来的な拡張にも柔軟な対応を可能にします。

また、モダナイゼーションの自動化に特化して独自に開発した AI エージェントによるオーケストレーション制御とタスク並列実行、言語の変換・検証を自動化するハーネスエンジニアリングや、実績結果を継続的に改善するループエンジニアリングを活用することで、大規模かつ効率的な変換を実現します。さらに、単純な機械変換ではなく、オブジェクト指向に基づく保守性・拡張性の高い Java アプリケーションへの移行を可能にします。

1 of 3　＜報道関係者お問い合わせ先＞　電話：044-754-3338（直通）　広報 佐藤 山下、茂木

加えて、Human-in-the-loop（人が介在する仕組み）による最終判断・補完を行うことで、品質の一貫性確保とリスク抑制を両立します。これにより、大規模かつ複雑なモダナイゼーションを実現するとともに、工程期間を約 40%短縮することが可能です。

2. **複数 AI を最適活用するマルチ AI 型モダナイゼーションでお客様 DX を推進**

当社開発の AI プラットフォーム「Fujitsu Kozuchi」と大規模言語モデル「Takane」を中核に、複数の AI エージェントが連携して業務を遂行し、自律して学習する、自己進化マルチ AI エージェント技術を実装します。

また、当社の開発技術に加え、Anthropic の「Claude」や OpenAI の「GPT」をはじめとした世界最先端の AI 技術も積極的に活用していきます。

これら複数の AI をお客様の業務やプログラム特性、セキュリティ水準に応じて柔軟に組み合わせ、トランスフォーメーションサービスとして提供します。これにより、お客様は日々刷新に進化する AI 技術の最適な選択や運用負荷を意識することなく、業務変革や ROI（Return On Investment）の創出といった本来注力すべき取り組みに集中でき、着実なモダナイゼーションを推進できます。

3. **当社の独自ナレッジを学習した専用 AI エージェントで高速・高精度なモダナイゼーションを実現**

当社が長年蓄積してきた数千規模のプロジェクト実績や成功・失敗事例などをナレッジとして言語化およびデジタル化し、これらの知見を専用 AI エージェントに学習させています。これにより、ナレッジエンジニアの確保が課題となっていたモダナイゼーションにおいても、場所と時間にとらわれることなく、高い再現性・信頼性・確実性を備えた日本発のモダナイゼーションを実現し、その展開を加速します。

4. **お客様自身での AI 活用を支援する自走化サービス基盤を順次提供**

当社は、モダナイゼ AI 基盤サービスの第一弾として、設計書自動生成サービス「Fujitsu Application Transform powered by Fujitsu Kozuchi」を 2026 年 3 月より提供開始しています。今回新たに提供開始する「Fujitsu AI ドリブンモダナイゼーションサービス」は、当社が最新の AI 技術を最適に選択・採用し、お客様にトランスフォーメーションサービスとして提供するモダナイゼーション特化型サービスです。本サービスの実践知を最大限活用し、お客様自身がモダナイゼーションを実行するための AI サービス基盤を順次提供していきます。

今後も本サービスの提供を通じて、お客様のモダナイゼーションのさらなる加速と持続的な進化を支援していきます。

「AI ドリブンモダナイゼーションサービス」の全体概要

2 of 3　＜報道関係者お問い合わせ先＞　電話：044-754-3338（直通）　広報 佐藤 山下、茂木

メディア掲載　●新聞：2社　●Web：12社（日経電子版、日経クロステック、ZDNet等）

© 2026 Fujitsu Limited

富士通AIドリブンモダナイゼーションとは

FUJITSU

トランスフォーメーション
Human-in-the-Loop

資産分析

要件定義

・実行制御
・監視/検証
・是正

運用テスト

システムテスト

現行システム

最新化システム

資産評価

現新テスト

AIトランスフォーメーション

AIオーケストレーション
/AIエージェント

フィッティング

AIオーケストレーション
管理エージェント
実行コンソール

テストデータ
/シナリオ準備

※FAT提供レイヤ
Fujitsu Application Transform
powered by Fujitsu Kozuchi

移行設計

ソース変換

From	To
COBOL C#、PL/I RPG	Java Python Go

AIコンポーネント
RAG、ナレッジグラフ、LLM

- Fujitsu ナレッジグラフ拡張RAG for Software Engineering
- Claude
- Fujitsu Kozuchi
- GPT
- Takane
- Gemini

© 2026 Fujitsu Limited

AIを活用したモダナイゼーションに対する市場の反応

FUJITSU

© 2026 Fujitsu Limited

AI実装によるリライトオファリング

FUJITSU

		From/インプット	To/アウトプット	仕様/特長
PROGRESSION		COBOL	Java （COBOLライク）	移行先マルチ対応 実績60社
BluAge		COBOL PL/I	Java	AWS向けに最適化 実績110社
New AIドリブンモダナイ リライト オファリング	Type1	COBOL C＃ PL/I RPG	Java Go Python	現ソースプログラムから変換
	Type2			・現ソースから設計書を復元 ・リバースされた設計書からソース変換

© 2026 Fujitsu Limited

AIドリブンモダナイ

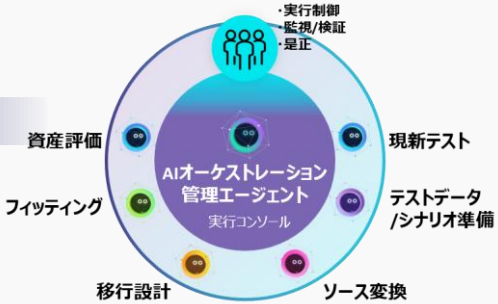
リライトオファリングの効果　Type 1

【富士通受発注システム先行事例】

- 現行ソースプログラムをインプットに、新プログラムを自動生成
- COBOLからPure-Javaへの変換で従来工期比80%削減

富士通 標準開発工数	**設計・製造・テスト 12.5日**
AIドリブンモダナイ Type1	**2.5日**

80%削減



© 2026 Fujitsu Limited

AIドリブンモダナイ

リライトオファリングの効果　Type 2

FUJITSU

【ＳＭＢＣ日興証券様向け先行事例】

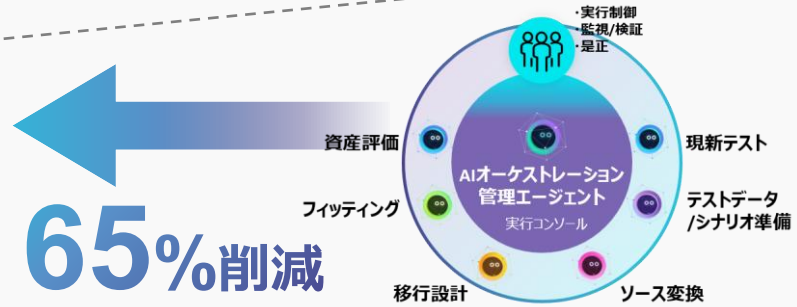
- 設計書リバースで復元された日本語での設計書を業務観点でレビュー/精査、結果をRAGに反映し、プログラムソースを自動生成
- 現行COBOLからJavaへのプログラムソース生成工期を65%短縮

富士通 標準開発工数

設計・製造・テスト
15週間

AIドリブンモダナイ Type2

５週間



© 2026 Fujitsu Limited

3. モダナイゼーションの成功/失敗事例

© 2026 Fujitsu Limited

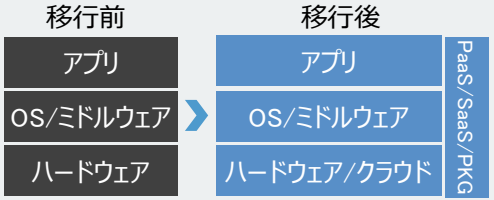
モダナイゼーション手法の選択

FUJITSU

既存　変更点

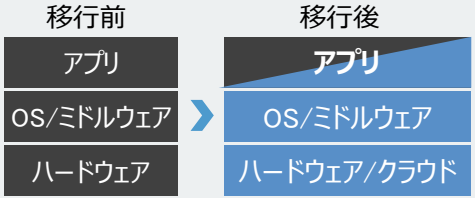
リビルド

競争優位創出



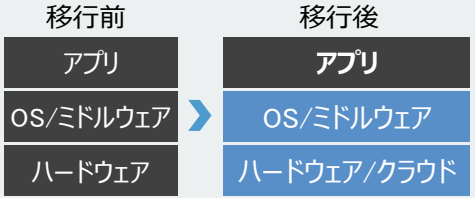
リライト

持続的最適化



リホスト

段階的刷新型 アプリ維持型



成功のポイント

- 経営の強い決断/関与
- ITと業務の推進力
- ITの推進力

～経営コミットメントが成功の鍵を握る～

© 2026 Fujitsu Limited

成功事例：リビルド

モダナイゼーション起点のDX推進

FUJITSU

製造業様

- 建築資材製造・販売、全国約100拠点に販売拠点展開
- **2030年に売上1,000億円**(+30%)を目指す

10年先を見越した生き残りのために

担当者による
職人芸的業務管理

経営サイドから
モノ・データの流れが見えない

経営トップ主導でモダナイズ
データ活用×AIで業務を劇的に改善

属人業務を排し、AI需給予測とデータ連携へ

効率的需予測＆計画を実現
（在庫抑制しつつ拠点追加）

AI活用により
構造計算コスト**約1億/年削減**

モダナイズがDXの第一歩。データとAIで新たなビジネス価値創造

© 2026 Fujitsu Limited

失敗事例：リビルド

基幹システムモダナイゼーションの失敗 -富士通の苦い経験-

FUJITSU

乱立したシステムの数

4,000+

2000年代初頭
全社IT・経営変革PJ開始

2年後
CIO交代により
特命PJ継続機運が減退
推進チーム解散

失敗の本質

- 経営ではなくIT主導のプロジェクト推進
- 全社レベルでのコミュニケーション不足

IT主導

ITにより業務プロセスを変え、
会社のリズムを変え、
事業モデルを変え、
経営を変える

経営主導

経営を変え、
事業モデルを変え、
会社のリズムを変え、
業務プロセスを変え、
そのためにITを変える

© 2026 Fujitsu Limited

富士通の再挑戦：トップ主導の企業変革

FUJITSU

富士通の変革「IT企業からDX企業へ」 2019年6月 時田社長就任時宣言

1 パーパス

2 事業変革

3 事業変革への発射台
制度・企業風土変革

わたしたちのパーパスは、イノベーションによって
社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくことです

Fujitsu uvance

uvance Wayfinders

デリバリートランスフォーメーション
Japan Global Gateway

OneFujitsu
オペレーション変革
データドリブン

Fujitsu
Work Life Shift
働き方改革

成果・評価
精度見直し
人事制度改革

FUJITRA
カルチャー変革DX

グロコミ
タウンホール
コミュニケーション

2023	2024	2025
OneCRM稼働 OneLicense稼働 OneData稼働	OneERP+稼働	OnePeople稼働

© 2026 Fujitsu Limited

成功事例：リライト

業務部門とIT部門の協働

© 2026 Fujitsu Limited

成功事例：リライト

段階的モダナイゼーション

FUJITSU

流通業様

- **長年利用してきた基幹システムの安定稼働**が大前提
- **メインフレームからクラウドへの移行**は必須のテーマ

現行業務インパクトを最小化したモダナイゼーションを実行

メインフレーム前提の
システム継続が難しい状況

大規模刷新はコスト・リスクの
観点で現実的ではない

システム継続の為に、AWS Blu Ageによるリライトを選択し変革の土台づくり

開発・移行の工期短縮を実現
総資産の20%の変換検証で75%が完了機能要素

保守性・拡張性の向上
COBOL to Javaにより可読性向上、
最新アーキテクチャにより機能拡張が可能に

段階的かつ現実的な変革の第一歩。DXを見据えて歩みを開始

© 2026 Fujitsu Limited

失敗事例：

モダナイゼーションの落とし穴

FUJITSU

事例1	当社メインフレームからのオープン化 **COBOL to COBOL（リホスト）**	▶	プロジェクト**遅延** 影響範囲の考慮不足
事例2	当社メインフレームからのオープン化 **COBOL to Java（リライト）**	▶	プロジェクト**見直し** 複雑・ブラックボックス化、業務精査の不足
事例3	他社メインフレームからのオープン化 **COBOL to Java（リライト）**	▶	プロジェクト**中断** 現行資産プログラムの見落とし

経営コミットメント＋万全な初期調査と計画が重要！

～成功と失敗は初動段階で決まる～

© 2026 Fujitsu Limited

4. モダナイゼーション
意思決定/初期準備のご支援

© 2026 Fujitsu Limited

グランドデザイン・プランニング

FUJITSU

お客様課題

- モダナイ投資大きく、**対効果の明確化**に悩んでいる
- **経営/業務部門**のモダナイPJ参画/牽引意識が弱い
- **最適なモダナイ手法**/採用技術がわからない
- 結果として検討に**長期間、先延ばし**が繰り返されている

モダナイゼーションアクションプランニング with Uvance Wayfinders

- 推進上の検討アイテム・課題・阻害要因を類型化
- 類型化FIT＆GAP化と、グランドデザイン実施
- ROI明確化、経営向け提案推進

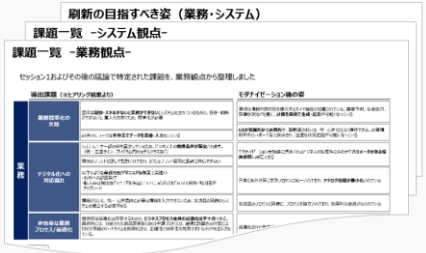
製造業様事例

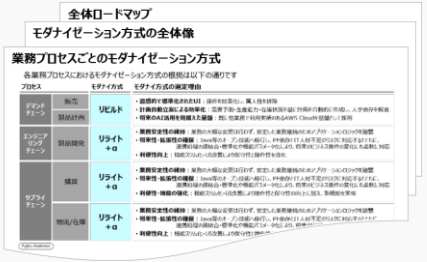
お客様課題

- 2年間モダナイを独自検討
- 期待価値曖昧、意思決定に苦慮

富士通のソリューション

- **将来価値/シナリオの明確化**
- **グランドデザイン/実行プラン策定のご支援**
- **結果、モダナイゼーション計画の経営合意へ**





© 2026 Fujitsu Limited

資産可視化・スリム化

FUJITSU

お客様課題

- ブラックボックス仕様、**確認リスク**高く手を付けられない
- 長期稼働の結果、移行すべき**対象資産・データが不明**
- アプリケーション毎の**移植難易度が不明**

資産分析サービス

稼働資産分析 / ソフトウェア地図分析 / 類似分析 / 移行難易度調査

- 富士通研究所開発技術を実装、600社の実績
- 未稼働・重複資産を明確化
- 断捨離・スリム化により、モダナイコスト低減へ

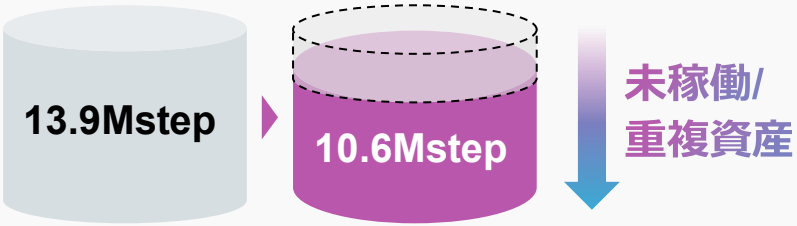
金融業様事例

お客様課題

- アプリ資産の稼働状況が掌握できない
- スリム化によりコスト低減を図りたい

富士通のソリューション

- **未稼働資産/類似資産を抽出**
- **25%が不要資産であることが判明、断捨離によりモダナイゼーションコスト減実現**



© 2026 Fujitsu Limited

現行資産（設計書･ソース）の復元

FUJITSU

お客様課題

- 現行設計書が不在
- 手元に残っているが、**稼働ソースとの一致/整合が不明**
- **プログラムソースの一部が喪失**

設計書リバースサービス
Missing Source復元サービス

- 富士通研究所のAI技術を実装
- 人が理解できるに日本語表記での設計書を復元
- レガシー稼働顧客の8割で消失するプログラムソースを独自技術で復元

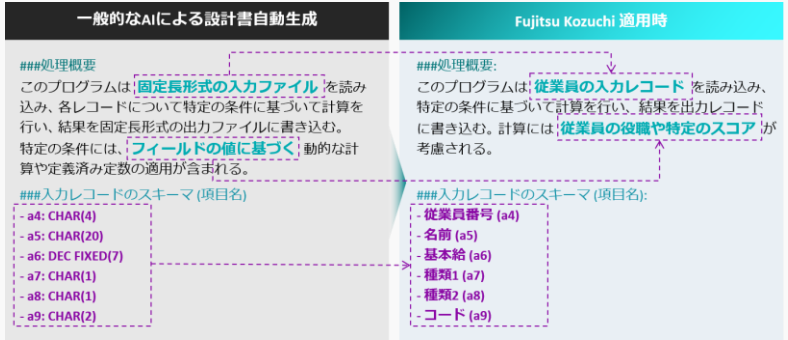
通信業様事例

お客様課題

- 現行設計書が不在、計画ができない
- 業務と連動した設計書を確認したい

富士通のソリューション

- **プログラムソースから設計書を復元**
- **日本語表記による正確な業務確認**



© 2026 Fujitsu Limited

5. お客様と共に歩む未来へ

© 2026 Fujitsu Limited

モダナイゼーションは次のステップへ

2026年5月28日中長期経営ビジョン2035より

モダナイゼーション

自社モダナイで培った知見、人材 (モダナイゼーションマイスター)、
およびツール(Fujitsu Application Transform Powered by Kozuchi含む）を
基盤として他社領域・AIネイティブ領域へ展開

更新 から 価値創出基盤 へ

創発型モダナイゼーション

Modernization for AI

- AIが業務を実行する前提への転換
- システムが自律的に最適化・進化

制約対応型モダナイゼーション

Legacy Modernization

- レガシー機器からの脱却
- EOL対応
- オンクラウドへの移行
- 2025年度他社市場攻略実績

© 2026 Fujitsu Limited

FUJITSU

2035 新しいビジネスモデル加速
当社レガシー資産保守終了

2030 生成AI・自律型システムの成熟
当社レガシー資産販売終了

2026 生成AIを活用した
新デリバリモデルの確立

2025 生成AI実装サービス開始

2023 モダナイゼーションCoE設立

2022 MF/UNIX終息宣言（2035）

富士通×AIでモダナイゼーションを
イノベーションの起点に

お客様と共に未来を創造します

© 2026 Fujitsu Limited

FUJITSU

Modernization

Leap Now

さあ、今こそ飛び越えよう　その先へ

© 2026 Fujitsu Limited

FUJITSU

26,292

1,648

1954

2026 2030

© 2026 Fujitsu Limited

Thank you

© 2026 Fujitsu Limited

お問合せ先

モダナイゼーションに関するご相談・お問合せは
こちらにお願い致します

モダナイゼーションイベント事務局
・e-mail ： contact-fjjp-moder@cs.jp.fujitsu.com

© 2026 Fujitsu Limited